

# 1 法華塔

かつての湯舟沢村美濃側からの入り口、道左側に広葉杉の大木があり、その根元に法華塔と彫った石塔があります。ここは、その昔処刑場があったところといわれ、その刑場の露と消えた人々の供養のために建てられたとも言われています。

# 2 留橋

この付近は紅葉が美しく、湯舟沢で1番の地峡部です。左岸の巨石に「留」と文字が刻まれています。留という文字を辞書で調べてみると「人は死して鬼となり、人見てこれを恐れる。鬼死して留となり、鬼見てこれを恐れる。」と記されています。

# 3 立岩

長い岩掛の坂を登りつめたところにバス停「立岩」があります。県道からの分岐点を左に10mほど登ると更に道路が分岐しており、その分岐点に約2mの三角錐に近い岩、「立岩」が立っています。

# 4 クアリゾート湯舟沢

地下850mから湧き出た温泉を利用し、浴場、13種類のパーデ、プール、63mのウォータースライダーなど多彩なアクア施設を備えた床面積4,200㎡のリラゼーションスペースです。宴会場、ホール、ゲームコーナーも備えられています。  
●泉質: ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物温泉(重曹泉)  
●効用: 神経痛・筋肉痛・関節痛・運動麻痺・関節のこわばり・冷え症・その他

# 5 ホテル花更紗

クアリゾート湯舟沢に隣接した天然温泉リゾートホテルです。和室28室、洋室13室、特別室2室、大広間、カラオケルーム、居酒屋、ゲームコーナーなどが備えられており、四季折々の自慢料理を味わうことができます。

# 23 ふれあい牧場

落合わらび平の17.8haの広大な草地に放牧される200頭余りのサフォーク種の羊。動物とのふれあい施設やバーベキュー施設もあり、雄大な大自然の中でゆったりと1日が過ごせます。

# 22 護摩堂

この護摩堂は、昔、吉祥院と呼ばれ、山中で苦行を積んで法力を得ようとする修行者が護摩を焚いて加持祈禱を行う場所でした。お堂は戦国時代末期に建てられたもので、軒下などには見事な彫刻が施されています。お堂の中には、最澄の木彫像や厨子、美濃派の俳人崇左坊の額などが残っています。

# 21 平遺跡

平安時代後期(11世紀)の祭祀遺跡で、昭和44年中央自動車道の建設工事に行った発掘調査の結果、全国でも珍しい石組みの祭壇が発見されました。遺構は正面を神坂峠にむかって組まれており、峠神に対する祭祀遺構と推察されます。縄文時代から古代にわたる遺跡であることが確認されています。出土品の一部は神坂事務所に展示されています。

# 20 細野薬師堂

聖徳太子の作と言われる薬師如来を本尊とするこの薬師堂は、この付近を東山道が通っていたという説があること、薬師堂は天台宗と関係が深く、広徳院跡も薬師堂であることなどから、伝教大師最澄が建立した布施屋広徳院のあったところだという説もあります。  
昭和34年の伊勢湾台風により倒壊し、当時より200m南下したところに移転再建されたもので、内陣には十二童子も安置されています。

# 19 神坂峠

中津川市と長野県阿智村の境にある標高1,595mの峠です。東山道最大の難所として古くからその所在は有名で、「日本書紀」や「ヤマトタケル」の伝説や万葉集の防人の歌にも詠まれるなど多くの歌集、史書、文芸の中に取り上げられています。別名「信濃坂」とも呼ばれていました。

# 18 丸山城跡

戦国時代遠山氏が岩村城にあった頃、街道をおさえるため10ヶ所の山城を築き、それらは伊那道・木曾路・美濃路の押さえとして重要な役割を果たしていました。このうち丸山城と阿寺城(中津川市手賀野)が本城であり、他は藩士を置いただけの砦であったと伝えられています。

# 17 木曾義仲駒つなぎの桜

霧ヶ原には牧があり、名馬「するすみ」を産したとも伝えられています。「するすみ」とは平家物語の宇治川先陣争いに登場する馬です。また丸山城近くに桜の木があり、木曾義仲がこの桜の木に駒をつなぎたと伝えられています。

# 16 富士見台高原

胞山県立公園の一角にある富士見台は標高1,723m。「富士が見たい」というところからその名が付けられたといわれています。実際には富士山は見えませんが、千島笹に覆われたその姿は目を見張ります。比較的手軽に登れる山として人気があり、平成10年には避難小屋も新築され、多くの人が訪れます。

# 15 風穴跡

神坂の風穴とは自然の地形を利用し、内部を石垣で囲んだ蚕の卵(蚕種)の冷蔵貯蔵庫のことです。明治6年頃から造営され、この付近には約30基の風穴がありました。平成18年に石積を修復し、当時の様子を再現しました。安全のため風穴内に入ることはできませんが、近づくとも天然の冷気を感じることができます。

# 14 神坂大櫓

林道大谷〜霧ヶ原線に登り、霧ヶ原治山運搬路(一般車両進入禁止。徒歩のみ)を約25分進むと神坂大櫓に到達します。樹齢1,000年ともいわれる大木です。平成9年に発見され、平成10年に神坂大櫓と命名されました。平成12年には「森の巨人たち百選」に林野庁から選定されました。大櫓の周辺は東濃森林管理署により散策道が整備されています。

# 13 櫓(けやき)平

市道下島〜霧ヶ原線に登り、霧ヶ原台地を東上したところにあります。かつて櫓の美林があったことから名づけられ、今でも大木がいくつか残っています。

# 12 強清水(こわしみず)

神坂峠の手前約3kmの地点に湧き水がでており、それが「強清水」です。かつて東山道・鎌倉街道を旅した人々の貴重な水の補給地でした。昭和61年に「岐阜県の名水50選」に選定されました。併用林道の脇にあり、櫓平から車で数分の場所にあり、付近には明治の頃に蚕種の冷蔵貯蔵庫として利用していた風穴が点在しています。



# 6 神坂事務所 神坂公民館

市の行政業務と公民館事業をおこなっており、地域のコミュニケーションの場として地域住民に利用されています。

# 7 地域活性化センター(湯舟の館)

クアリゾート湯舟沢より徒歩2分、神坂事務所に隣接した位置にあります。地域の農林産物を加工し、付加価値をつけた特産品などを販売しています。

# 8 天徳寺

龍福山天徳寺、臨済宗妙心寺派に所属し、過去帳によると慶長5年(1600年)に開基となっています。その後承応2年(1653年)、宝永4年(1707年)に再建されましたが、天保14年(1843年)に焼失、その後嘉永2年(1849年)荒町から現在の地に移転再建されました。

# 9 兼好法師塚

徒然草の作者でもある吉田兼好はこの静かな湯舟の里に庵を結びましたが、固守が多くの家臣をつれて狩りをすする様子が失し、この地を去ったと吉野拾遺物語に記されています。  
江戸時代、庵跡と伝えられた川並地区に供養の墓が建てられましたが、中央自動車道の工事に伴い、恵那山トンネル入り口付近に移転されました。現在はそこからさらにクアリゾート湯舟沢の対岸に移転され、毎年4月には地元の人たちによる供養祭が営まれています。

# 10 広済院顕彰碑

比叡山に天台宗を開いた伝教大師最澄は弘仁8年(817年)に東国布教のために神坂峠を越えましたがこの長く険しい峠道に1件の宿もない事を知り、布施屋をすることを考え、美濃側に広済院、信濃側に広徳院を建立し、多くの旅人を救ったと伝えられています。これにちなみ、この場所に碑が建てられました。

# 11 延暦寺広済寮

伝教大師最澄が、日本最古の民間福祉事業である布施屋を建立したこの地に、社会福祉法人富田会が昭和53年に特別養護老人ホーム延暦寺広済寮を開設しました。介護が必要なお年寄りのために職員の方々が毎日頑張っています。

中津川市神坂活性化推進協議会

# 神坂ヘルスウォーキングマップ



## 生活のなかに運動を！ 歩くことから始めましょう！

誰でも、どこでも、いつでも気軽にはじめられるウォーキング。手軽に運動習慣が身につくだけでなく、肥満やストレスの解消、生活習慣からくる病気の予防、老化の防止に効果があります。

神坂の豊かな自然にふれながら、のんびりとウォーキングをしてみませんか？



## MEMO

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



## ◎神坂への交通のご案内

- ☆JR中央線中津川駅よりバスで約20分  
(北恵那バス、中切経由馬籠行にご乗車、中切でご降車下さい。)
- ☆JR中央本線落合川駅から徒歩約15分でバス停落合へ  
(北恵那バス、馬籠行にご乗車、中切で降車下さい。)
- ☆中央自動車道中津川インターチェンジから車で約30分  
近くには中山道落合宿、馬籠宿があり、馬籠宿は文豪島崎藤村の生誕の地としても知られています。

## ◎神坂地内のバス停のご案内

